

1 審議会の人数について (15分間)

	メリット	デメリット	デメリットの解決策
<p>少数の場合 (20人以下)</p> <p>●●</p>	<p>各自の意見が出やすくなる</p> <p>日程調整がしやすい</p> <p>経費が比較的少なくて済む</p>	<p>特定の地域とか問題に意見が出されにくい</p> <p>個人の負担が多くなる</p> <p>広い意見がとりにくい</p>	<p>親睦の場が知識の範囲で片寄りが出る</p> <p>知識のある人に初めは場が...</p> <p>仮称(勉強会)と協議会形式で広い意見を吸い上げる</p>
<p>多数の場合 (21~50人程度)</p> <p>●●●●</p>	<p>人数が多い方が多岐に亘り意見交換可能</p> <p>多くの人の意見(考え)が出る</p> <p>多くの意見(問題)が身になる</p> <p>多くの市民の意見が反映できる</p> <p>数多くの意見が出やすい</p> <p>人数が多いに利益代表が多数となり意見の差を吸収できる</p>	<p>意見がまとまりにくくなる</p> <p>メンバー一人の発言回数制限された方がよくあがる</p> <p>意見がまとまりにくい</p>	<p>意見がまとまりにくくなる</p> <p>意見がまとまりにくい</p> <p>経費が削減できる</p> <p>手当てを考えると日程を増やしていく</p> <p>手当て半額にする方法も有る</p>

## 2 審議会の構成メンバーについて (15分間)

	メリット	デメリット	デメリットの解決策
<p>学識経験者と公募委員だけとする ●●●●●</p>	<p>意欲のある者の集まりが効果的</p> <p>公募委員が考えをのべやすい</p> <p>学識経験者の複数入り</p> <p>基本条例での学識経験者による賛成・賛否の内容が効果的になる</p> <p>公募の数は15%以上とす</p> <p>学識経験者は専門家?</p>	<p>地域の声が出にくい</p>	
<p>さらに団体代表者を加える ●●</p>	<p>市内の意見が出るだけでなく、市外からの意見も聞ける可能性がある</p> <p>市内全域に関わる団体は、広く意見が集められる</p> <p>少数の団体があれば良い</p> <p>委員会の中で必ずしも死んで参加を求めず</p>	<p>団体の選別が難しい</p> <p>条例に感じがいのある代表者が参加すると議論にはならない</p>	

## 3 具体的な公共的団体等について（15分間）

審議会委員として適当な団体等（学識経験者、公募による市民を除く）

こがや地域  
ネットワーキング

越谷市環境  
推進市民会議

越谷市農業  
団体連合会

越谷子育て  
ネットワーキング会

越谷子育て  
ネットワーキング会

NPO法人の  
意向のある団体等

(社)越谷青年会議所

(社)越谷市  
医師会

越谷PTA  
連合会

(特)子育てネットワーキング会